



▲広々とした水田の広がり「郷戸原」<sup>ごうどはら</sup>

上と右の写真くらべてみると、平地の多い所と、山の多い所の様子が一目で分かります。

柳津地区<sup>ちく</sup>には、広い平地が多く、水田に利用されています。



▲谷間の集落「牧沢地区」<sup>たにま しゅうらく まきさわちく</sup>

西山地区は、山と山にはさまれた沢<sup>さわ</sup>の中に「たな田」がつくられています。人びとの住まいも、谷間の傾斜<sup>しや</sup>地にだんだんに建てられ、集落<sup>しゅうらく</sup>をつくっています。



山あいの「たな田」▶